

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	自己造血回復後の染色体異常の出現と臨床経過についての検討
	研究目的	同種造血幹細胞移植後生着不全を合併し、染色体異常を伴う自己造血を回復した症例の頻度や臨床像を明らかにする。
	研究対象者	同種造血幹細胞移植後生着不全を合併し、染色体異常を伴う自己造血を回復した症例
	研究期間	西暦 2018 年 10 月 19 日 ~ 西暦 2020 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	血液内科部長 金森平和
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	血液内科
	共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	国立成育医療研究センター 小児がんセンター医長 加藤元博